

2022 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 理学療法士学科 | | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
|--|----------------|-------------|--|-------------|------------------------------|---------------|
| 科目名 | 理学療法評価学Ⅲ(検査法Ⅱ) | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対象学年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 302 他 |
| 担当教員 | 荒木 将平 | 実務経験とその関連資格 | 理学療法士として回復期病院、介護老人保健施設に勤務経験あり。臨床実習指導者の経験もある。 | | | |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>「感覚検査」「反射・筋緊張検査」「協調運動機能検査」「バランス検査」4項目の理学療法評価の目的、意義を理解し、正しく実施するための知識・技術を身につける。</p> | | | | | | |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>授業態度、課題レポート、筆記試験の総合評価とする。</p> | | | | | | |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>ビジュアルレクチャー理学療法基礎評価学 配布資料</p> | | | | | | |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>教科書を用いて講義内容の箇所を予習・復習する。</p> | | | | | | |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>教科書や検査道具の忘れ物に注意し、実技練習においては相応しい服装を準備の上取り組むこと。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 理学療法に必要な感覚検査について説明できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 理学療法に必要な感覚検査 | | | |
| 第2回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 進め方、方法、記録方法、疼痛評価について説明できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感覚検査の実際 | | | |
| 第3回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 感覚検査を学生同士で実施できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感覚検査演習 | | | |
| 第4回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 感覚検査を学生同士で実施できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感覚検査演習 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 理学療法に必要な反射・筋緊張検査について説明できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 理学療法に必要な反射・筋緊張検査 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------------|-------------|--|-------------|------------------------------|
| 第6回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 進め方、方法、記録方法について説明できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 反射・筋緊張検査の実際 | | |
| 第7回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 反射・筋緊張検査を学生同士で実施できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 反射・筋緊張検査演習 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 理学療法に必要な協調運動機能検査について説明できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 理学療法に必要な協調運動機能検査 | | |
| 第9回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 進め方、方法、記録方法、Brunnstrom Stage SIASについて説明できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 協調運動機能検査の実際 | | |
| 第10回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 協調運動機能検査を学生同士で実施できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 協調運動機能検査演習 | | |
| 第11回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 協調運動機能検査を学生同士で実施できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 協調運動機能検査演習 | | |
| 第12回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 理学療法に必要なバランス検査について説明できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 理学療法に必要なバランス検査 | | |
| 第13回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 進め方、方法、記録方法について説明できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | バランス検査の実際 | | |
| 第14回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | バランス検査を学生同士で実施できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | バランス検査演習 | | |
| 第15回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | バランス検査を学生同士で実施できる | 教科書 配布資料 | 教科書を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | バランス検査演習 | | |